

1.17 防災未来賞「ぼうさい甲子園」とは？

阪神・淡路大震災の経験と教訓を未来に向かって継承していくため、学校や地域で防災教育や防災活動に取り組んでいる子どもや学生を顕彰する事業です。日常の備えとなる学校や地域での取り組みを募集し、毎年1月に兵庫県公館で式典を開催し、受賞校の表彰式・発表会を行っています。平成30年度は14回目の開催となります。

次世代を担う子どもたちの防災活動や災害に取り組む活動が、防災教育の新たな道を切り開き、前進していきますように、との願いを込めて、1.17 防災未来賞「ぼうさい甲子園」を実施いたします。

1年間の流れ



応募および実施要項

【対象部門】

①小学生 ②中学生 ③高校生 ④大学生
の4部門からそれぞれ賞が選ばれます。

※自主防災組織・NPO等からも各部門に応募できます。

【対象活動】

自然災害から命と暮らしを守るための防災教育や防災活動の取り組み。応募は学校、クラス、サークル活動、ボランティア活動、地域などの単位で（他薦も歓迎します）。

【対象期間】

平成29年10月1日～平成31年3月31日（活動予定も含む）

【応募締切】

平成30年9月30日（消印有効）

【応募方法】

- インターネットからの応募
- E-mailもしくは郵送からの応募



* 下記の URL の応募フォームよりご応募いただくか、応募用紙をダウンロードの上、E-mail または郵送にてご応募ください。

<http://npo-sakura.net/bousai-koushien/>

【応募用紙の配布】

下記の機関で応募用紙を配布しております。

- 兵庫県復興支援課（電話：078-362-9984）
- （公財）ひょうご震災記念21世紀研究機構
人と防災未来センター事業部事業課（電話：078-262-5068）

【応募先】

〒662-0041 兵庫県西宮市末広町 4-7 夙川レッチオ レジデンツァ 402
ぼうさい甲子園事務局（特非）さくらネット
電話：0798-23-3215
メール：bousai_koushien@yahoo.co.jp

【選考基準】

- 地域性**：自分が住んでいる地域の実情に合った取り組みをしている。
- 独創性**：活動内容に創意工夫があり、ユニークであること。
- 自主性**：子どもたちが積極的に参加、考えながら取り組んでいる。
- 継続性**：一過性の取り組みではなく、大人になってからも有効な防災意識を持ち続けられる内容である。

上記4つの観点を選考基準に、河田恵昭・人と防災未来センター長（関西大学社会安全学部特別任命教授）を委員長とする選考委員会が審査、決定します。

【賞】

「グランプリ」 最優秀賞（賞金 40 万円）

* 各部門（小・中・高・大）の大賞の中から1団体に選定されます

「ぼうさい大賞」 各部門1点（賞金 20 万円）

* 各部門1団体に贈られます。グランプリに次ぐ賞です

「優秀賞」 各部門1点

「奨励賞」 各部門数点

「はばタン賞」 数点

* 被災経験と教訓から生まれた優れた取り組みに選定されます

「だいいょうぶ賞」 数点

* 防犯や安心・安全なまちづくりを目指す優れた取り組みに選定されます

「津波ぼうさい賞」 数点

* 津波避難訓練や津波対策に対する優れた取り組みに選定されます

「教科アイデア賞」 数点

* 教科教育において取り組まれた優れた防災教育活動に選定されます

「フロンティア賞」 数点

* 過去に応募がなかった地域・分野での先導的な取り組み及び初応募の優れた取り組みに選定されます

「継続こそ力賞」 数点

* 過去数年にわたり継続的に実施された優れた取り組みに選定されます

※その年の応募内容により新たな賞として表彰されることがあります。

【表彰式・発表会】

平成31年1月13日に兵庫県公館にて、受賞校の表彰式・優れた活動の発表を開催する予定です。防災教育実践の知恵や工夫が満載です。どなたでもご参加いただけます。詳細については、受賞校決定後に改めてご案内いたします。

「1.17は忘れない」

兵庫県では、1月17日を“ひょうご安全の日”、1月を“減災月間”と定め、取り組みを進めています。1月17日は「防災とボランティアの日」、1月15～21日は「防災とボランティア週間」です。